

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林ふれあい推進センター・こだま通信



森林環境教育セミナーの開催 ～小・中学校の先生を対象に実施～



セミナー参加者集合写真

セミナーの終わりには一日を振り返ってもらい、参加した先生からは、山下教授の講義を聞き「森林環境教育の歴史が分かりやすかった」「森林環境教育の大切さが分かった。」などの意見が寄せられました。

また、間伐を体験して「木と木の間隔が狭いと倒す向きをよく考えないといけない等難しい作業だということが分かりました。」「達成感がすごい。作業は疲れましたが、楽しかったです。」など意見が寄せられました。

全体としては、「実際に体験することが出来たことは、貴重な機会だった。」「森林伐採＝ダメなこと」というイメージが子供のころありましたが、手入れのために木を伐ることも必要だと学びました。」などの感想が聞かれました。

参加した先生の皆様には、今回楽しく体験したことや推奨事例集の楽しい事例を、学校の授業等を通して子どもたちに伝えていただくことを期待するところです。

「森林環境教育手引書〈小学校編〉」「森林環境教育推奨事例集」については、次のHPで紹介していますのでご覧ください。
(http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/tebikisho/tebikisho2.html)

8月19日(月)に箕面国有林勝尾寺園地周辺において、箕面市の小・中学校経験2年目の先生や豊中市、池田市、豊能町の小・中学校の先生、23名が参加して、京都大阪森林管理事務所とボランティア団体の協力を得て、森林環境教育セミナーを開催しました。

森林環境教育セミナーは、学校教育における森林環境教育の推進を目的として、箕面市教育委員会との共催により平成17年度から実施し、今回で9回目の開催となります。

今回のセミナーの内容は、京都教育大学の山下宏文教授による講義「森林環境教育の重要性と進め方」、箕面森林官による箕面国有林の管内概要の説明、間伐作業の安全に関する説明や間伐体験に加えて、当ふれあいセンターで作成した森林環境教育推奨事例集の中から、「飛ぶタネの模型づくり」としてアルソミトラ(熱帯アジアにあるウリ科の植物)のタネの模型の作製等を実践してもらいました。



森林整備部長開会挨拶



山下教授講義(森林環境教育の重要性と進め方)



箕面森林官による箕面国有林の紹介



ふれあいセンター職員による飛ぶ種子の説明



飛ぶ種子の模型の作製



飛ぶ種子の飛行



ボランティアの指導による間伐作業体験



丸太切り作業体験



国民の森林・国有林

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

箕面森林ふれあい推進センターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055

URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F